

風 か ほ る

校長 石原 健

新人戦を振り返って

9月17、18、19日に新人兼県民総合スポーツ大会所沢市予選が開催されました。ご存じの通り、この大会は3年生が引退し、1、2年生が中心となって活動し始めて最初の公式戦となります。練習の成果が結果となって現れたチームや選手、逆にいつもできていることができずに悔しい思いをしたチームや選手、おかれた状況は様々ですが、生徒たちの勝利に向かって一生懸命になっている姿をたくさん見ることができました。「勝ち」にも「負け」にも必ず理由があります。それが、技術的なものなのか、体力的なものなのか、精神的なものなのか、それ以外のものなのか…選手の皆さんは「勝ち＝嬉しい」や「負け＝悔しい」だけで終わりにせず、しっかりとこの大会の振り返りをしてください。それが次への一歩につながります。

次の公式戦は来年の6月です。今から半年以上の時間があります。皆さんには、まだまだ伸びしろはいっぱいあります。可能性の塊です。目標を掲げ、その目標を忘れずにこれからの練習に励んで下さい。



加えて、保護者の方々には、会場に足を運び、生徒たちを応援していただきありがとうございました。生徒たちの普段家では見せない表情をたくさん目にしたことと思います。生徒たちが活躍できるのも各ご家庭のご協力あってのことと思います、大変感謝しております。引き続き、応援とご協力をお願いいたします。

学校朝会 ～校長講話の予定内容より～

先日の学校朝会では、表彰者が多く時間が足りなくなってしまったため、この場を借りて、そこでお話する予定だった内容を紹介します。

～冒頭は省略～

さて、「責任ある立場」、「責任ある行動・プレー」など…「責任ある〇〇」とよく表現されますが、責任というものはある限られた人（部長、副部長、レギュラーなど）だけが持っているものなのでしょうか。勿論、部長、副部長やレギュラーなど、中心者には責任感が必要ですが、責任はその人たちだけが持っていれば良いというものでもありません。責任の重さ（大きさ）の大小はありますが、部員それぞれに与えられた責任を果たすプレーや行動で、チームは勝利に近づきます。逆に無責任なプレーや行動が積み重なることは、チームの敗北につながります。勝ち負けですべてを評価する訳ではありませんが、試合をしている以上勝利を目指すことは必要です。

今回の新人戦を振り返り球技を例に話をすると、今回試合中に「自分のところにボールが来い！」と思った人。それは自分に与えられた責任を果たそうと頑張っていた人です。反対に「自分のとこ

ろにはボールが来ないでくれ…」と思った人。それは自分に与えられている責任の大きさに押しつぶされ逃げようとしていた人です。後者の人たち、ちょっと考えてみて下さい。コート、グラウンドの中にいるのは自分一人でしたか？そこにはチームの仲間はいませんでしたか？試合の局面では1対1でプレーしていますが、試合は一人で行っている訳ではありません。皆さんのそばには、共に努力をしてきた仲間がいたはずです。ベンチにはチームの勝利を願って応援している仲間がいたはずです。冷静になり周りを見渡すことで、もっともっと自分の力を発揮できるものです。追い込まれた時ほど、仲間の存在を忘れないでください。

最後に今話したことをこれから始まる合唱コンクールの取り組みにも置き換えてみてください。クラスのため、学年のため、合唱コンの成功のために、他人任せにせず、自分は何ができるのかを考え、責任ある行動をしてください。

南陵中生の活躍 敬称略

○新人兼県民総合スポーツ大会所沢市予選

<チーム、団体>

1位 野球部※県大会出場

2位 柔道部男子

3位 女子バスケットボール部、サッカー部、ソフトボール部、柔道部女子

<個人>

陸上競技 共通男子100mH 1位※県大会出場 共通男子走幅跳 2位※県大会出場

共通男子1500m 3位※県大会出場 2年女子100m 1位※県大会出場

女子4×100mR 1位※県大会出場

柔道男子 1位※県大会出場 ※県大会出場 2位 3位※県大会出場

柔道女子 1位※県大会出場

剣道男子 3位※県大会出場

テニス 入間地区大会男子シングルス 1位※県大会出場

○新人兼県民総合スポーツ大会県大会

水泳男子50m背泳ぎ 5位

女子100mバタフライ 8位

○学校総合体育大会県大会 相撲個人 3位

○全日本女子相撲岐阜大会 中学生女子準優勝

○所沢市小中学校科学教育振興展覧会

出展 3年生 2年生 1年生

○所沢市子ども写生大会

特賞 まちづくり環境協会会長賞

